

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-266187

(P2001-266187A)

(43) 公開日 平成13年9月28日 (2001.9.28)

(51) Int. Cl.⁷
G 0 7 B 15/00

識別記号

F I
G 0 7 B 15/00データベース (参考)
A 3 E 0 2 7

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-79984 (P2000-79984)

(22) 出願日 平成12年3月22日 (2000.3.22)

(71) 出願人 591089556

株式会社 沖縄情報システムズ
群馬県高崎市双葉町3番1号

(71) 出願人 000000295

沖縄気工業株式会社
東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72) 発明者 瀬戸 太一

群馬県高崎市双葉町3番1号 株式会社 沖縄
情報システムズ内

(74) 代理人 100089083

弁理士 大西 健治

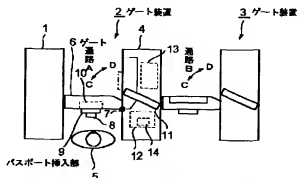
Fターム (参考) 3B327 C4D6 C407 C801

(54) 【発明の名称】 ゲート装置

(57) 【要約】

【課題】 利用客が通路を間違えずに通過できるゲート装置を提供する。

【解決手段】 利用客が通過する通路Aのゲート6にマシニングダブルパスポート8の挿入部9を設ける。



実施の形態によるゲート装置の配置を示す概略図

【特許請求の範囲】

【請求項1】 挿入された券を読み取り、ゲートを開閉するゲート装置において、券の挿入部を通路のゲートに設けたことを特徴とするゲート装置。

【請求項2】 前記ゲートは、券を挿入部から抜き取るべく請求項1記載のゲート装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は挿入された券を読み取り、ゲートを開閉するゲート装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、空港、港等には、出入国審査の一部を機械的に処理するゲート装置が設置されてある。このゲート装置は、利用客（以後搭乗客と記載する）がマシンリーダブルパスポート（以後パスポートと記載する）を装置本体に設けられたパスポート挿入部に挿入すると、装置が必要な情報を読み取り、問題なければ、搭乗客がパスポート挿入部から排出されるパスポートを受け取るとゲートを開閉する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来のゲート装置においては、パスポート挿入部が装置本体に設けられてあるので、搭乗客はパスポートが装置本体に挿入された時点で、通路のゲートが開閉すると勘違いし、パスポート挿入部から排出されるパスポートを受け取らずにゲートに向かってしまうという問題点があった。

【0004】 また、ゲート装置が複数隣接した場合、通路がゲート装置を挟んで配置されるので、ゲート装置をはじめて通過する人にとってどちらの通路にむかったらよいかわからないという問題点もあった。

【0005】 また、どちらの通路にむかったらよいかわからない状態の搭乗客がゲート装置にパスポートを挿入するタイミングによっては、隣の搭乗客が通過するゲートを通過してしまう恐れがあるという問題点もあった。

【0006】 本発明は利用客が通路を間違えずにゲート装置を通過することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために本発明のゲート装置においては、券の挿入部を通路のゲートに設ける。

【0008】

【発明の実施の形態】 本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。尚、各図面に共通な要素には同一符号を付す。

【0009】 図1は実施の形態によるゲート装置の配置を示す模式図である。通路Aを挟んでゲート装置1、ゲート装置2が配置しており、通路Bを挟んでゲート装置2、ゲート装置3が配置してある。ゲート1は中身の無い筐

体である。ゲート装置2、ゲート装置3は同一構造であるので、ゲート装置2を例にとって説明する。

【0010】 ゲート装置2は本体装置4と利用客5（以後搭乗客5と記載する）が通る通路Aを開閉するゲート6とからなり、ゲート6は本体装置4に設けた支軸7を中心に矢印C-D方向に回転自在である。

【0011】 ゲート6の前には、搭乗客5がパスポート8を挿入するパスポート挿入部9が設けられており、パスポート挿入部9の内部には見開き状態で挿入されたパスポート8を読み取る光学式文字読取部10が設けられている。

【0012】 本体装置4には、搭乗客5に案内を表示する表示部11と、ゲート6の機構部12と、装置全体を制御する制御部13とが設けられている。

【0013】 機構部12はゲート開閉モータ14と図示せぬ歯車列とからなり、支軸7に固着した歯車をゲート開閉モータ14により正逆回転させて支軸7に固着したゲート6を回転させる。

【0014】 通路Aの上部には搭乗客5がゲート6に接近したことを検出する後述する近接センサが設けられている。

【0015】 図2は図1に示したゲート装置の制御ブロック図である。制御部14には確認処理部17が設けられており、光学式文字読取部10、表示部11、ゲート開閉モータ14、近接センサ15、データベース16が接続してある。

【0016】 確認処理部17は制御プログラムにより動作する中央処理装置（以後CPUと記載する）からなる。

【0017】 図3はパスポートの概略図であり、写真の下に本人を示すコードが記載されており、このコードが光学式文字読取部10より読み取られる。

【0018】 次に動作について図4を参照して説明する。図4は図1に示したゲート装置の動作を説明するフローチャートである。ステップS1で確認処理部17は、近接センサ15を通じて搭乗客5が装置に接近したか否かをセンサしており、搭乗客5が装置に接近したことを検知するとステップS2に分岐する。

【0019】 ステップS2で確認処理部17は、搭乗客5にパスポート8をパスポート挿入部9に挿入することを音声で通知すると共に表示部11に表示する。

【0020】 ステップS3で確認処理部17は、パスポート挿入部9のセンサにより、パスポート8が挿入されたか否かをセンサしており、パスポート8が挿入されたことを検知するとステップS4に分岐する。

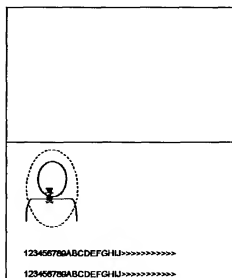
【0021】 ステップS4で確認処理部17は、光学式文字読取部10を通じてパスポート8の所定のエリアに書き込まれているコードを読み取る。

【0022】 ステップS5で確認処理部17は、データベース16に格納してある犯罪者リストに載っているか否かをチェックし、犯罪者リストに載っている場合はス

【0027】本実施の形態では、空港、港等に設置され、出入国審査の一部を機械的に処理するゲート装置を説明したが、本発明は、劇場や競技場等のようにゲートが複数設置され、利用客が挿入した券を読み取ってゲートを開閉する場合にも適用できる。

20 9 バスポート挿入部

【图3】



パスポートの無効化

【図2】

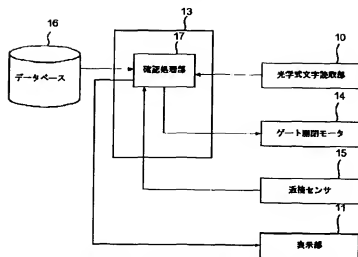


図1に示したゲート装置の制御ブロック図

【図4】

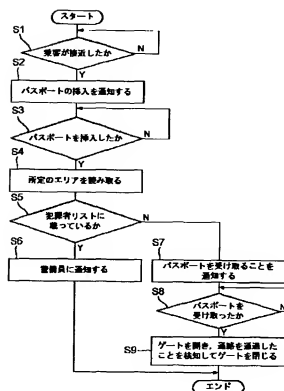


図1に示したゲート装置の動作を説明するフローチャート

DERWENT-ACC-NO: 2002-014346

DERWENT-WEEK: 200202

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Gate device of passport inspection
machine used in airport, harbor, consists of gate
which is opened or closed after reading of ticket
inserted into insertion portion provided at gate

PATENT-ASSIGNEE: OKI ELECTRIC IND CO LTD[OKID] , OKI
FIRMWARE SYSTEMS
KK[OKIFN]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0079984 (March 22, 2000)

PATENT-FAMILY:
PUB-NO PUB-DATE
LANGUAGE PAGES MAIN-IPC
JP 2001266187 A September 28, 2001 N/A
004 G07B 015/00

APPLICATION-DATA:
PUB-NO APPL-DESCRIPTOR APPL-NO
APPL-DATE
JP2001266187A N/A
2000JP-0079984 March 22, 2000

INT-CL (IPC): G07B015/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001266187A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Gate devices (2,3) include a gate (6) which is
opened or closed by
reading of ticket such as passport inserted into a passport
insertion portion
(9) provided on gate. Gate is located in the passage
through which user is
permitted entry, and is opened after the ticket is

examined.

USE - For passport inspection machine used in airport, harbor.

ADVANTAGE - The ticket is reliably ejected from ticket insertion portion.
Allows person to pass through the gate without any mistake.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the model diagram of gate device.
(Drawing includes non-English language text).

Gate devices 2,3

Gate 6

Passport insertion portion 9

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: GATE DEVICE PASSPORT INSPECT MACHINE AIRPORT
CONSIST GATE OPEN
CLOSE AFTER READ TICKET INSERT INSERT PORTION
GATE

DERWENT-CLASS: T05

EPI-CODES: T05-D01A;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-011632